

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 株式会社 ODKソリューションズ

上場取引所 東

コード番号 3839 URL https://www.odk.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝根 秀和

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 作本 宜之 TEL 06-6202-0413

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,091	4.9	△439	-	△411	-	△305	-
2022年3月期第3四半期	2,947	59.6	△374	-	△331	-	△248	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △321百万円 (-%) 2022年3月期第3四半期 △434百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△37.32	-
2022年3月期第3四半期	△30.32	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	7,796	5,294	67.9	651.41
2022年3月期	8,030	5,735	71.4	699.53

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 5,294百万円 2022年3月期 5,734百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	5.00	-	5.00	10.00
2023年3月期	-	5.00	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	1.8	330	△24.4	360	△29.3	240	23.6	29.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	8,200,000株	2022年3月期	8,200,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	73,012株	2022年3月期	2,712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	8,181,122株	2022年3月期3Q	8,197,136株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に波はあるものの、行動規制の緩和等により徐々に社会経済活動の正常化がすすみました。一方で、中国でのロックダウンによるサプライチェーンの混乱や原材料の供給不足に加え、グローバルでの金利調整等を背景とした円安進行や物価上昇による家計や企業への影響等もあり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

情報サービス産業におきましては、政府がAI分野への官民連携した投資拡充やDXへの投資を重点分野としていることを背景に、IT投資は堅調に推移しております。〔経済産業省特定サービス産業動態統計（2022年11月分確報）より〕

こうした環境下、当社グループでは、中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）の基本方針に「ODKグループ拡大」を掲げ、「新事業ポートフォリオの推進」「グループシナジーの創出」「株式市場での認知度向上」を本年度の重点課題として様々な施策に取り組んでおります。

当社単体としては、中期経営計画の基本方針に「データビジネスによる新たな価値の創造」を掲げ、「アライアンス・M&Aの推進」「次世代サービスの創出」「データビジネス基礎の構築」を本年度の重点課題として取り組んでおります。

その結果、受験ポータルサイト『UCARO®』の導入校数は100校を突破し、前年より23校増えて111校に拡大しております。今後も同システムを軸とした成長戦略により、データビジネスによる新たな価値の創造を継続してまいります。

また、マイナンバー管理業務システムを、管理業務のさらなる効率化やユーザー利便性が向上するワンストップサービス『マイナワン』としてリニューアルした他、大学入試における面接や事前課題等の採点を一元管理し、業務効率化が可能となるサービス『iiscore-U』や完全オンラインの総合型選抜合格支援サービス『Compass-U』の提供を開始しております。これら当社グループの新たな取組みについては、カスタマーサクセス事業を含め、いずれも当初想定より収益獲得に時間がかかる見込みではありますが、データビジネスの基礎づくりと既存事業とのコネクトによる事業力強化を目指し、今後も積極的に推進してまいります。

その他、株式会社電通グループと日常的な体験や学びをNFTで可視化し、個人の成長を応援するWeb3.0サービス『アプデミー』の社会実装を目指し、共同研究を開始いたしました。

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、証券業務におけるマイナンバー関連やeラーニングシステムのスポット開発剥落等があったものの、大学入試業務等の売上認識や第2四半期に譲り受けた人材育成サポート事業の売上等により、売上高は3,091,258千円（前年同四半期比 4.9%増）となりました。また、人件費や退職給付費用、事業譲受による諸費用の増加等により、営業損失は439,048千円（同 営業損失374,117千円）、受取配当金の発生等により経常損失は411,925千円（同 経常損失331,987千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は305,334千円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失248,535千円）となりました。

なお、前連結会計年度から連結子会社となった株式会社ECSの決算期を1月31日から3月31日に変更いたしました。当連結会計年度は決算期変更の経過期間となることから、2022年2月1日から2022年12月31日までの11カ月間を当第3四半期の連結対象期間とした変則的な決算となっておりますが、損益への影響は軽微であります。

**当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期連結会計期間にかけて増加する傾向にあるため、第3四半期連結累計期間の売上高は相対的に少なくなる傾向にあります。しかし、人件費等の固定費は四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、第3四半期連結累計期間の利益が、他の四半期に比べ極めて低い水準にとどまり、例年第3四半期まで損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。**

売上高の内訳は次のとおりであります。

#### <システム運用>

大学入試業務等の売上認識や第2四半期に譲り受けた人材育成サポート事業の売上等により、2,927,895千円（前年同四半期比 6.8%増）となりました。

#### <システム開発及び保守>

証券業務におけるマイナンバー関連やeラーニングシステムのスポット開発剥落等により、111,414千円（同 25.7%減）となりました。

#### <機械販売>

医療システム用機器更改の売上時期変更等により、51,948千円（同 7.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて233,497千円減の7,796,590千円となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて207,736千円増の2,502,581千円となりました。これは主に新規借入れによる長期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて441,234千円減の5,294,008千円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想について、最近の業績動向を踏まえ修正いたしました。詳細につきましては、本日(2023年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,527,332	2,539,681
売掛金及び契約資産	2,234,900	1,560,743
有価証券	101,149	—
商品	—	33,000
仕掛品	9,713	12,252
その他	108,451	211,342
貸倒引当金	△12,934	△8,935
流動資産合計	4,968,613	4,348,084
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	111,196	97,417
工具、器具及び備品（純額）	142,228	108,501
リース資産（純額）	221,769	164,957
有形固定資産合計	475,195	370,876
無形固定資産		
のれん	51,367	86,341
顧客関連資産	—	95,950
ソフトウェア	739,754	751,062
ソフトウェア仮勘定	172,340	440,403
その他	6,047	7,335
無形固定資産合計	969,509	1,381,093
投資その他の資産		
投資有価証券	1,029,402	1,012,161
繰延税金資産	238,501	384,445
差入保証金	174,087	172,760
その他	174,778	127,167
投資その他の資産合計	1,616,768	1,696,535
固定資産合計	3,061,473	3,448,505
資産合計	8,030,087	7,796,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	314,302	169,018
短期借入金	147,070	317,750
リース債務	96,930	64,825
未払金	71,138	49,379
未払費用	93,422	124,660
未払法人税等	189,501	27,035
賞与引当金	139,257	71,866
その他	259,847	235,392
流動負債合計	1,311,471	1,059,927
固定負債		
長期借入金	331,708	856,779
リース債務	161,343	115,244
退職給付に係る負債	452,167	470,630
その他	38,154	—
固定負債合計	983,373	1,442,654
負債合計	2,294,844	2,502,581
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	637,200	637,200
資本剰余金	695,140	695,020
利益剰余金	4,248,937	3,861,713
自己株式	△306	△42,910
株主資本合計	5,580,971	5,151,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,271	142,984
その他の包括利益累計額合計	153,271	142,984
非支配株主持分	1,000	—
純資産合計	5,735,242	5,294,008
負債純資産合計	8,030,087	7,796,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,947,154	3,091,258
売上原価	2,462,688	2,607,386
売上総利益	484,465	483,871
販売費及び一般管理費	858,582	922,920
営業損失(△)	△374,117	△439,048
営業外収益		
受取利息	498	488
受取配当金	26,523	24,941
受取手数料	946	795
投資事業組合運用益	17,940	—
保険解約返戻金	893	5,164
その他	2,018	3,843
営業外収益合計	48,821	35,233
営業外費用		
支払利息	4,448	4,943
投資事業組合運用損	—	2,872
株式報酬費用消滅損	2,058	—
その他	185	294
営業外費用合計	6,692	8,110
経常損失(△)	△331,987	△411,925
特別損失		
固定資産除却損	2,940	3,146
特別損失合計	2,940	3,146
税金等調整前四半期純損失(△)	△334,927	△415,072
法人税、住民税及び事業税	10,827	29,178
法人税等調整額	△97,218	△132,797
法人税等合計	△86,391	△103,618
四半期純損失(△)	△248,535	△311,453
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△248,535	△305,334

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△248,535	△311,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185,851	△10,286
その他の包括利益合計	△185,851	△10,286
四半期包括利益	△434,386	△321,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△434,386	△315,620
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△6,119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。